

経営体育成支援事業目標達成状況報告書(5年度目) 振替地区分

【経営体育成交付金からの振替地区】

都道府県名	市町村名	地区名	承認年度	目標年度
北海道	幕別町	幕別町	平成22年度	平成26年度

I 意欲ある多様な経営体の育成・確保に関する成果目標

(単位:経営体、人、人・日)

成果目標項目	現 状 (計画時)	目 標 (5年度目)	達成状況(上段:計画、下段:実績)					5年度目 達成状況 (%)
			1年度目	2年度目	3年度目	4年度目	目標年度	
① 農業の6次産業化(経営体数)								
経営面積の拡大(経営体数)		4	3 2	3 4	3 4	4 4	4 4	100.0%
② うち耕作放棄地の解消								
農業経営の法人化(経営体数)								
③ うち集落営農組織								
④ 新規作物の導入(経営体数)		8	8 6	8 6	8 7	8 8	8 8	100.0%
⑤ 農産物の品質向上(経営体数)		193	175 20	191 72	193 179	193 18	193 183	94.8%
⑥ 生産コストの縮減(経営体数)		197	178 144	194 131	197 138	197 138	197 142	72.1%
⑦ 集落営農組織の育成(経営体数)								
新規就農者の育成・確保(人)		1	0 0	1 1	1 1	1 1	1 1	100.0%
⑧ うち青年認定就農者		1	0 0	1 1	1 1	1 1	1 1	100.0%
⑨ 雇用者の確保(人・日)		2,160	840 840	960 1,961	1,440 2,707	1,680 3,823	2,160 3,905	180.8%
⑩ (地域提案目標①) 家族経営協定	15	24	18 24	23 24	24 24	24 24	24 24	100.0%
⑪ (地域提案目標②) 環境への配慮	0	206	194 194	206 206	206 206	206 206	206 206	100.0%

II 対象経営体の経営改善目標

No	経営改善目標	現 状 (計画時)	目 標 (5年度目)	達成状況(上段:計画、下段:実績)					5年度目 達成状況 (%)
				1年度目	2年度目	3年度目	4年度目	目標年度	
1	【新規作物の導入】 飼料作物(牧草)の導入(ha)	0	30	0	30	30	30	30	190.0%
				0	57	57	57	57	
1	【農産物の品質向上】 圃場の排水改善による農産物の品質向上 (小麦の製品率向上:%)	68	75	75	75	75	75	75	242.9%
				84	72	93	78	85	
	【生産コストの縮減】 排水対策作業時間の短縮 (ha当り作業時間:分)	80	70	70	70	70	70	70	100.0%
0	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	100.0%
				1	1	1	1	1	

No	経営改善目標	現 状 (計画時)	目 標 (5年度目)	達成状況(上段:計画、下段:実績)					5年度目 達成状況 (%)
				1年度目	2年度目	3年度目	4年度目	目標年度	
2	【農産物の品質向上】 圃場の排水改善による農産物の品質向上 (小麦の製品率向上:%)	64	71	71	71	71	71	71	-42.9%
				85	47	88	69	61	
	【生産コストの縮減】 排水対策作業時間の短縮 (ha当り作業時間:分)	80	70	70	70	70	70	70	100.0%
3	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	100.0%
				1	1	1	1	1	
	【新規作物の導入】 人参の導入(ha)	0	1	1	1	1	1	1	200.0%
4	【農産物の品質向上】 圃場の排水改善による農産物の品質向上 (小麦の製品率向上:%)	84	87	87	87	87	87	87	133.3%
				87	83	96	87	88	
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	100.0%
5	【農産物の品質向上】 圃場の排水改善による農産物の品質向上 (小麦の製品率向上:%)	72	79	79	79	79	79	79	-28.6%
				70	45	93	67	70	
	【生産コストの縮減】 排水対策作業時間の短縮 (ha当り作業時間:分)	70	60	60	60	60	60	60	100.0%
6	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	100.0%
				1	1	1	1	1	
	【生産コストの縮減】 搾乳作業の効率化により、作業時間短縮 する (1頭当り搾乳時間:分)	5.5	5.0	5.5	5.5	5.0	5.0	5.0	100.0%
7	【雇用の確保】 増頭による雇用者1名を通年で受入れる (人・日)	0	240	0	0	240	240	240	200.0%
				0	0	0	480	480	
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	100.0%
8	【農産物の品質向上】 適期収穫による豆類の品質向上 (豆類の製品率向上:%)	84	92	92	92	92	92	92	100.0%
				75	81	93	92	92	
	てん菜の収穫技術向上による品質向上 (10a当り糖量の向上:kg)	1,167	1,307	1,307	1,307	1,307	1,307	1,307	141.4%
				1,181	1,124	1,251	766	1,365	
	圃場の排水改善による農産物の品質向上 (小麦の製品率向上:%)	71	78	71	78	78	78	78	200.0%
				71	64	93	78	85	
	【生産コストの縮減】 豆類の収穫作業労働時間の短縮 (ha当り作業時間:時間)	8	7	7	7	7	7	7	100.0%
てん菜の収穫作業労働時間の短縮 (ha当り作業時間:時間)	10	9	9	9	9	9	9	100.0%	
9	排水対策作業時間の短縮 (ha当り作業時間:分)	70	60	70	60	60	60	60	100.0%
				70	60	60	60	60	
10	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	100.0%
				1	1	1	1	1	

No	経営改善目標	現 状 (計画時)	目 標 (5年度目)	達成状況(上段:計画、下段:実績)					5年度目 達成状況 (%)
				1年度目	2年度目	3年度目	4年度目	目標年度	
7	【農産物の品質向上】 圃場の排水改善による農産物の品質向上 (小麦の製品率向上:%)	67	74	74	74	74	74	74	185.7%
				74	63	89	82	80	
	てん菜の収穫技術向上による品質向上 (10a当り糖量の向上:kg)	1,243	1,393	1,243	1,243	1,393	1,393	1,393	-828.7%
				1,243	1,243	1,243	0	0	
	【生産コストの縮減】 排水対策作業時間の短縮 (ha当り作業時間:分)	70	60	60	60	60	60	60	100.0%
				60	60	60	60	60	
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	100.0%
				1	1	1	1	1	
8	【生産コストの縮減】 堆肥の製造による肥料費の縮減 (10a当り肥料費:円)	11,677	11,327	11,327	11,327	11,327	11,327	11,327	442.6%
				9,146	9,435	12,343	11,369	10,128	
	【雇用の確保】 雇用手1名を通年で受入れる(人・日)	0	240	240	240	240	240	240	100.0%
				240	240	240	240	240	
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	100.0%
				1	1	1	1	1	
9	【農産物の品質向上】 圃場の排水改善による農産物の品質向上 (小麦の製品率向上:%)	77	82	82	82	82	82	82	320.0%
				68	82	94	72	93	
	【生産コストの縮減】 排水対策作業時間の短縮 (ha当り作業時間:分)	120	100	100	100	100	100	100	100.0%
				100	100	100	100	100	
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	100.0%
				1	1	1	1	1	
10	【農産物の品質向上】 野菜苗の定植姿勢改善による品質向上 (野菜の製品率向上:%)	81	83	83	83	83	83	83	200.0%
				83	85	85	85	85	
	【生産コストの縮減】 定植作業と補植作業の労働時間短縮 (10a当り作業時間:分)	70	60	60	60	60	60	60	100.0%
				60	60	60	60	60	
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	100.0%
				1	1	1	1	1	
11	【農産物の品質向上】 適期散布と高い防除効果による品質向上 (小麦の製品率向上:%)	74	81	81	81	81	81	81	242.9%
				73	74	93	70	91	
	【生産コストの縮減】 低圧・少量散布による農薬費の縮減 (10a当り農薬費:円)	4,500	4,230	4,230	4,230	4,230	4,230	4,230	111.1%
				5,472	4,165	4,200	5,403	4,200	
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	100.0%
				1	1	1	1	1	
12	【農産物の品質向上】 てん菜の収穫技術向上による品質向上 (10a当り糖量の向上:kg)	1,159	1,298	1,298	1,298	1,298	1,298	1,298	59.0%
				1,089	910	1,067	723	1,241	
	適期散布と高い防除効果による農産物の 品質向上 (小麦の製品率向上:%)	71	78	71	71	78	78	78	257.1%
				71	71	88	82	89	
	【生産コストの縮減】 てん菜の収穫作業労働時間の短縮 (ha当り作業時間:時間)	10	9	9	9	9	9	9	100.0%
				9	9	9	9		
	低圧・少量散布による農薬費の縮減 (10a当り農薬費:円)	4,697	4,410	4,697	4,697	4,410	4,410	4,410	103.5%
				4,697	4,697	4,410	4,400	4,400	
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	100.0%
				1	1	1	1	1	

No	経営改善目標	現 状 (計画時)	目 標 (5年度目)	達成状況(上段:計画、下段:実績)					5年度目 達成状況 (%)
				1年度目	2年度目	3年度目	4年度目	目標年度	
13	【農産物の品質向上】 適期散布と高い防除効果による農産物の 品質向上 (小麦の製品率向上:%)	83	86	83	86	86	86	86	266.7%
	83			86	93	80	91		
	【生産コストの縮減】 低圧・少量散布による農薬費の縮減 (10a当り農薬費:円)	4,432	4,160	4,432	4,160	4,160	4,160	4,160	122.1%
4,432	4,160			4,160	4,100	4,100			
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	100.0%
	1			1	1	1	1		
14	【農産物の品質向上】 圃場の排水改善による農産物の品質向上 (小麦の製品率向上:%)	71	78	78	78	78	78	78	300.0%
	69			62	91	83	92		
	【生産コストの縮減】 排水対策作業時間の短縮 (ha当り作業時間:分)	80	70	70	70	70	70	70	100.0%
70	70			70	70	70			
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	100.0%
	1			1	1	1	1		
15	【農産物の品質向上】 圃場の排水改善による農産物の品質向上 (小麦の製品率向上:%)	83	86	86	86	86	86	86	100.0%
	71			82	95	85	86		
	【生産コストの縮減】 排水対策作業時間の短縮 (ha当り作業時間:分)	80	70	70	70	70	70	70	100.0%
70	70			70	70	70			
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	100.0%
	1			1	1	1	1		
16	【農産物の品質向上】 適期散布と高い防除効果による品質向上 (小麦の製品率向上:%)	77	82	82	82	82	82	82	220.0%
	72			56	93	81	88		
	【生産コストの縮減】 低圧・少量散布による農薬費の縮減 (10a当り農薬費:円)	5,584	5,240	5,240	5,240	5,240	5,240	5,240	111.6%
5,240	5,200			5,200	5,200	5,200			
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	100.0%
	1			1	1	1	1		
17	【農産物の品質向上】 圃場の排水改善による農産物の品質向上 (小麦の製品率向上:%)	77	82	82	82	82	82	82	260.0%
	83			86	94	82	90		
	【生産コストの縮減】 排水対策作業時間の短縮 (ha当り作業時間:分)	80	70	70	70	70	70	70	100.0%
70	70			70	70	70			
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	100.0%
	1			1	1	1	1		
18	【農産物の品質向上】 てん菜の収穫技術向上による品質向上 (10a当り糖量の向上:kg)	978	1,095	978	1,095	1,095	1,095	1,095	207.7%
	873			1,181	1,056	662	1,221		
	【生産コストの縮減】 てん菜の移植作業労働時間の短縮 (ha当り作業時間:時間)	7	6	7	6	6	6	6	100.0%
7	7			6	6	6			
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	100.0%
	1			1	1	1	1		
19	【農産物の品質向上】 てん菜の収穫技術向上による品質向上 (10a当り糖量の向上:kg)	627	702	702	702	702	702	702	769.3%
	628			1,061	844	545	1,204		
	【家族経営協定】 家族経営協定の締結 (実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	100.0%
1	1			1	1	1			
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	100.0%
	1			1	1	1	1		

No	経営改善目標	現 状 (計画時)	目 標 (5年度目)	達成状況(上段:計画、下段:実績)					5年度目 達成状況 (%)
				1年度目	2年度目	3年度目	4年度目	目標年度	
25	【農産物の品質向上】 圃場の排水改善による農産物の品質向上 (小麦の製品率向上:%)	70	77	77	77	77	77	77	300.0%
				83	110	97	82	91	
	【生産コストの縮減】 排水対策作業時間の短縮 (ha当り作業時間:分)	80	70	70	70	70	70	70	70
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	100.0%
				1	1	1	1	1	
26	【農産物の品質向上】 播種床の団粒構造改善、圃場の排水改善 による農産物の品質向上 (小麦の製品率向上:%)	83	86	86	86	86	86	86	166.7%
				74	60	93	73	88	
	長芋の収穫改善による品質向上 (長芋の製品率向上:%)	75	78	78	78	78	78	78	500.0%
				78	85	91	90	90	
【生産コストの縮減】 長芋の収穫作業労働時間の短縮 (ha当り作業時間:時間)	32	30	30	30	30	30	30	30	100.0%
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	100.0%
				1	1	1	1	1	
27	【農産物の品質向上】 適期収穫による牧草の品質向上 (栄養成分の向上:%)	59	62	62	62	62	62	62	133.3%
				62	60	62	62	63	
	【生産コストの縮減】 牧草の収穫作業労働時間の短縮 (ha当り作業時間:分)	22	20	20	20	20	20	20	20
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	100.0%
				1	1	1	1	1	
28	【農産物の品質向上】 圃場の排水改善による農産物の品質向上 (小麦の製品率向上:%)	68	75	75	75	75	75	75	257.1%
				72	85	95	83	86	
	【生産コストの縮減】 排水対策作業時間の短縮 (ha当り作業時間:分)	80	70	70	70	70	70	70	70
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	100.0%
				1	1	1	1	1	
29	【農産物の品質向上】 適期収穫による牧草の品質向上 (栄養成分の向上:%)	58	61	61	61	61	61	61	133.3%
				58	57	61	61	62	
	【生産コストの縮減】 牧草の収穫作業労働時間の短縮 (ha当り作業時間:分)	200	180	180	180	180	180	180	180
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	100.0%
				1	1	1	1	1	
30	【農産物の品質向上】 圃場の排水改善による農産物の品質向上 (小麦の製品率向上:%)	83	86	86	86	86	86	86	100.0%
				86	87	86	86	86	
	【生産コストの縮減】 排水対策作業時間の短縮 (ha当り作業時間:分)	80	70	70	70	70	70	70	70
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	100.0%
				1	1	1	1	1	

No	経営改善目標	現 状 (計画時)	目 標 (5年度目)	達成状況(上段:計画、下段:実績)					5年度目 達成状況 (%)
				1年度目	2年度目	3年度目	4年度目	目標年度	
36	【農産物の品質向上】 馬鈴薯の収穫技術向上による品質向上 (馬鈴薯の製品率向上:%)	73	76	76	76	76	76	76	100.0%
				76	76	76	76	76	
	圃場の排水改善による農産物の品質向上 (小麦の製品率向上:%)	76	82	82	82	82	82	82	216.7%
				78	72	92	78	89	
	【生産コストの縮減】 馬鈴薯の収穫作業労働時間の短縮 (ha当り作業時間:時間)	18	16	16	16	16	16	16	100.0%
			16	16	16	16	16		
	【生産コストの縮減】 排水対策作業時間の短縮 (ha当り作業時間:分)	70	60	60	60	60	60	60	100.0%
				60	60	60	60	60	
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	100.0%
				1	1	1	1	1	
38	【農産物の品質向上】 圃場の排水改善による農産物の品質向上 (小麦の製品率向上:%)	75	82	82	82	82	82	82	228.6%
				60	58	88	75	91	
	【生産コストの縮減】 排水対策作業時間の短縮 (ha当り作業時間:分)	70	60	60	60	60	60	60	100.0%
				60	60	60	60	60	
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	100.0%
				1	1	1	1	1	
39	【新規作物の導入】 人参の導入(ha)	0	2	2	2	2	2	2	250.0%
				2	2	3.5	4	5	
	【生産コストの縮減】 排水対策作業時間の短縮 (ha当り作業時間:分)	80	70	70	70	70	70	70	100.0%
				70	70	70	70	70	
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	100.0%
				1	1	1	1	1	
40	【農産物の品質向上】 てん菜の収穫技術向上による品質向上 (10a当り糖量の向上:kg)	970	1,086	1,086	1,086	1,086	1,086	1,086	105.2%
				944	1,023	1,043	609	1,092	
	【生産コストの縮減】 てん菜の中耕作業労働時間の短縮 (ha当り作業時間:分)	90	80	80	80	80	80	80	100.0%
				80	80	80	80	80	
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	100.0%
				1	1	1	1	1	
41	【新規作物の導入】 キャベツの導入(a)	0	20	20	20	20	20	20	900.0%
				45	100	173	150	180	
	【生産コストの縮減】 排水対策作業時間の短縮 (ha当り作業時間:分)	80	70	70	70	70	70	70	100.0%
				70	70	70	70	70	
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	100.0%
				1	1	1	1	1	

No	経営改善目標	現 状 (計画時)	目 標 (5年度目)	達成状況(上段:計画、下段:実績)					5年度目 達成状況 (%)
				1年度目	2年度目	3年度目	4年度目	目標年度	
42	【農産物の品質向上】 適期散布と高い防除効果による品質向上 (小麦の製品率向上:%)	78	82	82	82	82	82	82	-125.0%
				76	79	92	85	73	
	【生産コストの縮減】 低圧・少量散布による農薬費の縮減 (10a当り農薬費:円)	6,306	5,920	5,920	5,920	5,920	5,920	5,920	105.2%
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	100.0%
				1	1	1	1	1	
43	【農産物の品質向上】 小麦の適期播種による品質向上 (小麦の製品率向上:%)	76	82	82	82	82	82	82	133.3%
				82	87	94	81	84	
	【生産コストの縮減】 排水対策作業時間の短縮 (ha当り作業時間:分)	80	70	70	70	70	70	70	100.0%
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	100.0%
				1	1	1	1	1	
44	【農産物の品質向上】 馬鈴薯の収穫技術向上による品質向上 (馬鈴薯の製品率向上:%)	76	79	79	79	79	79	79	100.0%
				79	79	79	79	79	
	【生産コストの縮減】 馬鈴薯の収穫作業労働時間の短縮 (ha当り作業時間:時間)	18	16	16	16	16	16	16	100.0%
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	100.0%
				1	1	1	1	1	
45	【農産物の品質向上】 圃場の排水改善による農産物の品質向上 (小麦の製品率向上:%)	82	85	85	85	85	85	85	-100.0%
				75	94	94	72	79	
	【生産コストの縮減】 排水対策作業時間の短縮 (ha当り作業時間:分)	80	70	70	70	70	70	70	100.0%
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	100.0%
				1	1	1	1	1	
46	【新規作物の導入】 にんにくの導入(a)	0	10	10	10	10	10	10	100.0%
				10	10	10	10	10	
	【農産物の品質向上】 圃場の排水改善による農産物の品質向上 (小麦の製品率向上:%)	79	82	82	82	82	82	82	300.0%
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	100.0%
				1	1	1	1	1	
47	【農産物の品質向上】 条間除草と中耕の改善による豆類の品質 向上 (豆類の製品率向上:%)	84	92	92	92	92	92	92	100.0%
				92	91	90	90	92	
	圃場の排水改善による農産物の品質向上 (小麦の製品率向上:%)	79	82	82	82	82	82	82	200.0%
				76	72	93	76	85	
【生産コストの縮減】 排水対策作業時間の短縮 (ha当り作業時間:分)	80	70	70	70	70	70	70	100.0%	
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	100.0%
				1	1	1	1	1	

No	経営改善目標	現 状 (計画時)	目 標 (5年度目)	達成状況(上段:計画、下段:実績)					5年度目 達成状況 (%)
				1年度目	2年度目	3年度目	4年度目	目標年度	
48	【農産物の品質向上】 馬鈴薯の収穫技術向上による品質向上 (馬鈴薯の製品率向上:%)	85	88	88	88	88	88	88	166.7%
				88	94	92	90	90	
	【生産コストの縮減】 馬鈴薯の収穫作業労働時間の短縮 (ha当り作業時間:時間)	18	16	16	16	16	16	16	100.0%
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	100.0%
				1	1	1	1	1	
49	【生産コストの縮減】 馬鈴薯の播種作業労働時間の短縮 (ha当り作業時間:分)	190	180	180	180	180	180	180	100.0%
				180	180	180	180	180	
	低圧・少量散布による農薬費の縮減 (10a当り農薬費:円)	5,656	5,310	5,656	5,310	5,310	5,310	5,310	100.0%
				5,656	5,310	5,310	5,310	5,310	
	馬鈴薯選別労働時間の短縮 (原料1ト当り作業時間:分)	90	85	90	85	85	85	85	100.0%
			90	85	85	85	85		
【雇用の確保】 雇用者又は研修生1名を通年で受入れる (人・日)	0	240	240	240	240	240	240	100.0%	
			240	240	80	240	240		
【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	100.0%	
				1	1	1	1		
50	【農産物の品質向上】 適期収穫による小麦の品質向上 (小麦の製品率向上:%)	74	81	81	81	81	81	81	142.9%
				70	61	92	72	84	
	【生産コストの縮減】 収穫労働時間の短縮による生産コストの低減 (ha当りオペレーター賃金:円)	10,294	9,770	9,770	9,770	9,770	9,770	9,770	723.5%
			7,775	5,551	4,782	5,004	6,503		
【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	100.0%	
			1	1	1	1	1		
51	【農産物の品質向上】 適期収穫による小麦の品質向上 (小麦の製品率向上:%)	71	78	78	78	78	78	78	314.3%
				77	73	91	70	93	
	【生産コストの縮減】 収穫労働時間の短縮による生産コストの低減 (ha当りオペレーター賃金:円)	8,755	8,310	8,310	8,310	8,310	8,310	8,310	730.8%
			6,110	4,565	4,226	5,431	5,503		
【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	100.0%	
			1	1	1	1	1		
52	【農産物の品質向上】 適期収穫による小麦の品質向上 (小麦の製品率向上:%)	74	81	81	81	81	81	81	242.9%
				78	81	92	78	91	
	【生産コストの縮減】 収穫労働時間の短縮による生産コストの低減 (ha当りオペレーター賃金:円)	6,617	6,280	6,280	6,280	6,280	6,280	6,280	468.0%
			5,083	5,506	4,874	5,301	5,040		
【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	100.0%	
			1	1	1	1	1		
53	【農産物の品質向上】 適期収穫による小麦の品質向上 (小麦の製品率向上:%)	76	82	76	82	82	82	82	233.3%
				76	82	93	80	90	
	【生産コストの縮減】 収穫労働時間の短縮による生産コストの低減 (ha当りオペレーター賃金:円)	5,513	5,230	5,513	5,230	5,230	5,230	5,230	1066.1%
			5,513	5,230	2,992	3,472	2,496		
【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1	1	1	1	1	100.0%	
			1	1	1	1	1		

No	経営改善目標	現 状 (計画時)	目 標 (5年度目)	達成状況(上段:計画、下段:実績)					5年度目 達成状況 (%)
				1年度目	2年度目	3年度目	4年度目	目標年度	
75	【家族経営協定】 新たに締結(実施:1)	0	1	0 1	1 1	1 1	1 1	1 1	100.0%
	【新規作物の導入】 ブロッコリーの作付導入(a)	0	10	10 100	10 125	10 110	10 101	10 60	600.0%
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	100.0%
76	【家族経営協定】 新たに締結(実施:1)	0	1	0 1	1 1	1 1	1 1	1 1	100.0%
	【生産性コストの削減】 作業効率の改善 (耕土作業:a/hr)	5	10	5 8	8 10	10 10	10 10	10 10	100.0%
	【環境への配慮】 点検シートによる点検の実施(実施:1)	0	1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	100.0%

Ⅲ 集落営農組織における農産物の共同販売経理状況

No	対象経営体名	共同販売経理 開始予定年月 (計画時)	実施状況(年月日)

Ⅳ 達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)

- ① 経営面積の拡大の取組では、4経営体で目標を設定しており、全経営体で計画面積以上の拡大をすることができ、目標を達成することができた。
- ② 新規作物の導入の取組では、8経営体で目標を設定しており、全経営体で新規作物を導入し、うち5経営体で計画以上の面積を作付けすることができた。
- ③ 農産物の品質向上の取組では、193経営体(8営農集団142経営体含む)で目標を設定しており、183経営体(6営農集団139経営体含む)で目標を達成することができたが、10経営体(2営農集団3経営体含む)で目標未達成となった。内訳としては、小麦が5経営体、てん菜が4経営体(2営農集団3経営体含む)、馬鈴しょが1経営体で未達成となっている。目標を達成できなかったどの経営体も肥培管理をしっかり行い、基盤整備も実施しており、品質向上に向けた技術指導も農協等が主体となって実施している。しかし、天候に恵まれず、適期作業ができなかったり、地区によっても大きく天候が違うことや、輪作体系上、毎年作付けする圃場が変わり、毎年条件の良い圃場で作付けできないということもあり、これらが複合的な要因となり、小麦、てん菜および馬鈴しょで品質の低下を招いてしまっている。今後は目標達成を目指し、肥培管理、基盤整備や丁寧な作業を今以上に実施することにより、品質向上を目指す。また、町、農協、農業改良普及センター、農業共済組合、日甜などで構成する「ゆとりみらい21推進協議会」が発行する営農技術情報を経営体に配布し、営農技術情報に基づいた取組が行われているかどうか確認したり、目標達成できなかった経営体の作業日誌・栽培履歴を確認するなどして、目標未達成理由を分析し、農協や普及センター等の関係機関と連携を図りながら、分析結果に基づいた技術指導を実施していくことで、次年度以降、目標達成を目指す。なお、てん菜の未達成経営体のうち、1経営体はてん菜作付計画の見直しにより当初予定していた本事業を活用した育苗ハウスの導入を取りやめており、現在てん菜の生産は行っていないため、未達成経営体に含めていない。
- ④ 生産コストの削減の取組では、197経営体(7営農集団140経営体含む)で目標を設定しており、142経営体(5営農集団86経営体含む)で目標を達成することができたが、55経営体(2営農集団54経営体含む)で目標未達成となった。未達成となった要因としては、気象状況により病害虫が増加してしまい、農薬散布回数が増えてしまったことや、地区によっては降雨により小麦の収穫時期に適期作業ができなく、収穫期間が他地区と比べて長くなってしまったこと等からオペレーター賃金が増加してしまったことによる。今後は目標達成に向けて、本事業で活用した機械等を効率的に活用することで今以上に計画的なコスト低減に向けた取組を着実に実行していくとともに、適期作業を行えるよう町や農協、農業改良普及センターなどで構成する協議会が発行する営農技術情報を周知し、それに基づいた取組がしっかり実施されているかどうか確認するなどして農協や普及センター等の関係機関と連携を図りながら技術指導していく。
- ⑤ 新規就農の確保については、新規就農した経営体は計画以上の作付けを行っている。
- ⑥ 雇用者の確保では、7経営体で目標を設定しており、全ての経営体で目標を達成することができ、全体として目標であった2,160人・日を大きく上回る3,905人・日の確保が図られた。
- ⑦ 家族経営協定の締結は、1年度目に最終目標である9経営体の締結を達成することができている。
- ⑧ 環境への配慮では、目標の206経営体で点検シートによる点検を本年度も実施した。

本地区の経営体は、地域の話し合いにより人・農地プランにおけるモデルとなりうる中心経営体に位置付けている。また、営農集団については、集団としての中心経営体への位置付けはなされていないが、適切な人・農地プランに位置付けられた中心経営体が集まった任意団体となっている。本事業に取り組んだ経営体が主体となって、話し合いの活動の中で今後の地域農業のあり方を検討し、更なる地域農業の発展を目指していくとともに、町としても、上記で記載している「ゆとりみらい21推進協議会」を活用し、各営農状況に応じた指導を行っていく。